

新西部工場（仮称）整備事業の事業者公募概要（案）について

新西部工場（仮称）（以下「新工場」という。）の整備を進めるにあたり、令和7年度に事業者公募を行うため、事業者公募概要（案）について報告するもの。

1 これまでの経緯

- R4.3月 基本構想策定
- R5.3月 基本計画策定
- R6.9月 議会報告（事業方式案）

西部工場再整備基本構想（令和4年3月策定）の概要

- **基本理念**

高い信頼性と周辺環境への一層の配慮による生活環境の保全に加え、地域・社会への幅広い貢献を図る

- **基本方針**

1. 安定的なごみ処理の実現と周辺環境への配慮
2. 脱炭素社会実現への寄与
3. 市民に親しまれ、地域に役立つ施設づくり

- **建設場所**

建設場所は現西部工場内にある西部資源化センターの場所とする。

（仮称）新西部工場基本計画（令和5年3月策定）の概要

- **処理方式・施設規模**

処理方式：ストーカ式焼却方式

施設規模：690t/日（230t/日×3炉）

- **防災機能**

災害時でもごみ処理を継続できるよう、耐震安全性は一般的な施設より高い水準とする。薬品の供給断絶や断水時においても、薬品・水を確保できる貯留設備とする。

令和6年9月生活環境委員会報告 「（仮称）新西部工場の事業方式(案)について」の概要

- **事業方式**

設計・施工一括発注方式（DB方式）とする。

（理由）

- ・社会的課題に対応する新たなテクノロジーを柔軟に導入できる
- ・災害ごみを受け入れるために柔軟かつ迅速な調整ができる
- ・民間ノウハウを活用することで建設費の削減が見込まれる

- **社会的な課題に対応した取り組み**

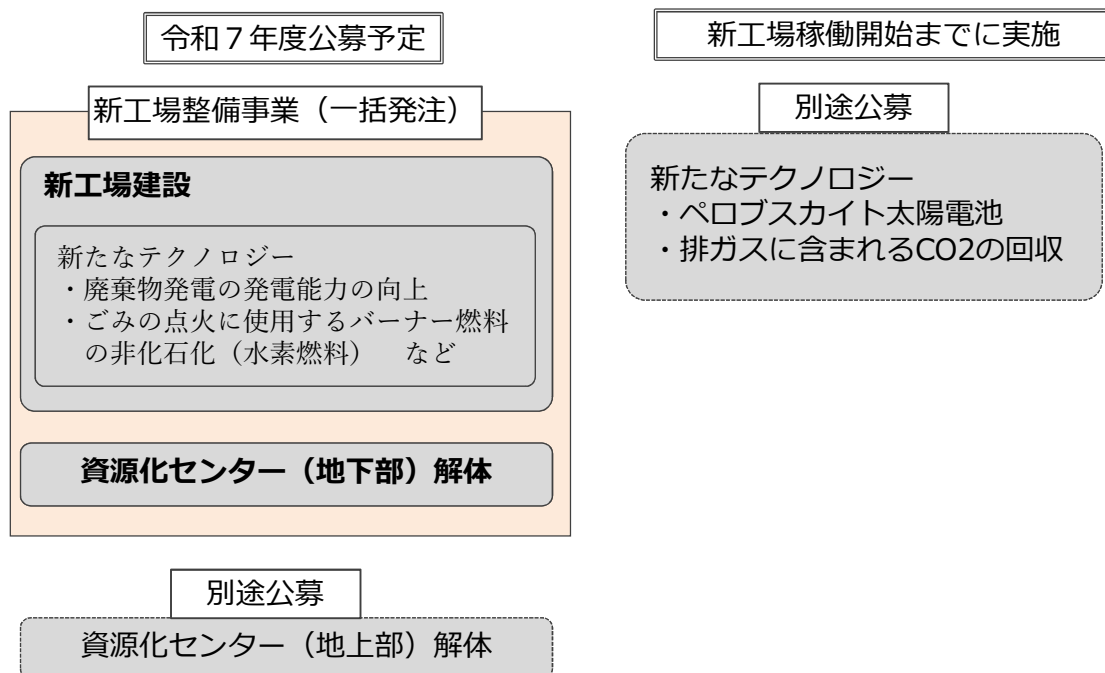
- ・新たなテクノロジーによる脱炭素社会実現への寄与や安定的なごみ処理の実現
- ・自然災害発生時における柔軟かつ迅速な災害ごみ受入れによる地域に役立つ施設

2 今回の新工場整備事業の対象工事

令和7年度に実施する公募は、新工場建設のほか、資源化センターの地下部が新工場のごみピットに活用が期待できるため当該地下部の解体を対象とする。

また、当該地上部の解体工事は別途公募する。

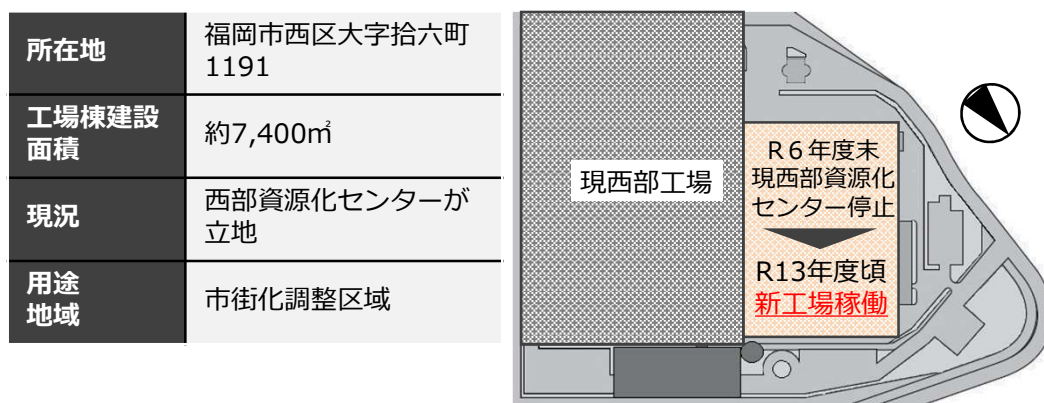
なお、ペロブスカイト太陽電池や排ガスに含まれるCO₂回収といった技術革新が進む技術については、後発工事とした方が技術革新やコスト縮減が期待できることから、新工場稼働開始に間に合うように別途公募する。



3 公募概要

（1）事業用地概要

建設場所は現西部工場敷地内にある西部資源化センターの場所とする。



(2) 公募条件

○事業方式は設計施工一括発注方式（DB方式）により実施する。

○一括発注で公募する業務範囲は設計業務、建設業務、工事監理業務とする。

(3) 工場の基本性能

施設規模	690t/日（230t/日×3炉）
処理方式	ストーカ式焼却方式
排ガス処理方式	乾式排ガス処理方式
ごみ貯留方式	通常のごみピットに加え、粗大ごみ専用ピットを設ける。
防災機能	薬品の供給断絶や断水時においても、ごみ処理を継続できるよう薬品・水を7日分以上確保できる貯留設備とする

(4) 事業者を求める主な提案内容

①事業の実施計画に関する提案内容

- 新工場のコンセプト及び実施体制
- 地域経済への貢献
- 周辺環境に配慮した工事計画

②安定的なごみ処理の実現に関する提案内容

- ごみ量、ごみ質等の変動への対応能力
- 光熱水費や修繕費等のランニングコスト低減の取り組み
- 運転作業員のメンテナンス性に配慮した施設計画

③テクノロジーによる課題解決に関する提案内容

- 地球温暖化に対応するため、廃棄物発電の高効率化や、ごみの点火に使用する燃料の非化石化（水素燃料）などの脱炭素に寄与する取り組み
- 労働力人口減少や熟練作業員の減少に対応するため、AI・IoT技術による運転の自動化や点検巡視の省力化の取り組み
- 別途発注するペロブスカイト太陽電池や、排ガスに含まれるCO2回収設備を想定した施設配置計画

(5) 事業者の選定方法

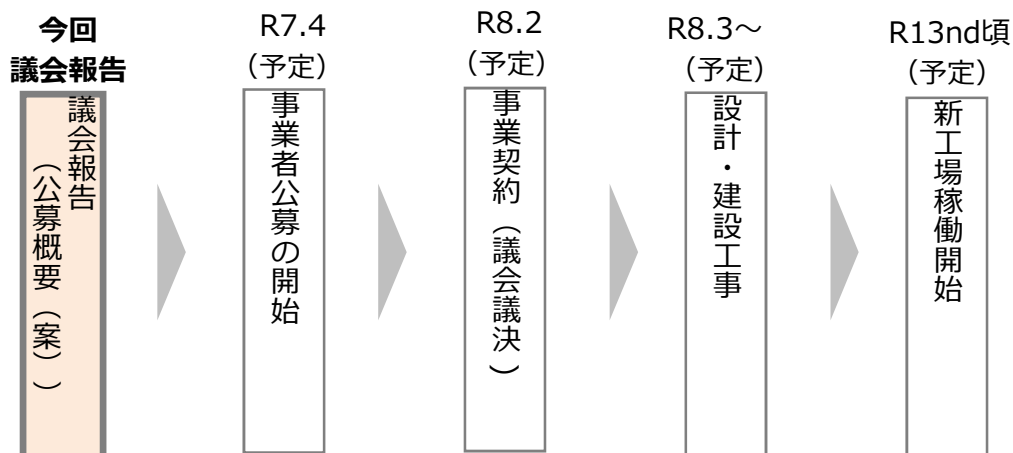
- 提案内容と価格を総合的に評価する、総合評価一般競争入札とする。
(WTO政府調達協定の対象)
- 評価の配点は、新たな社会的課題に対応するため、提案内容を重視したものとする。
- 提案の評価方法は、廃棄物や脱炭素技術などの専門家で構成する「新西部工場（仮称）事業者選定委員会」を設置した上で、提案に対する評価を行い、その意見を参考に市において事業者を決定する。

【新西部工場（仮称）事業者選定委員会 委員名簿】

氏名	所属等
荒牧 敬次	九州先端科学技術研究所 専務理事・副所長
黒瀬 武史	九州大学大学院 人間環境学研究院 都市・建築学部門 教授
小出 秀雄	西南学院大学 経済学部 教授
鈴木 慎也	福岡大学 工学部 教授
中山 裕文	九州大学大学院 工学研究院 環境社会部門 教授
林 灯	九州大学 エネルギー研究教育機構 教授
八尋 隆	福岡市 環境局 循環型社会推進部長

(敬称略、五十音順)

4 今後のスケジュール



(参考 1) 主な評価項目 (案)

○提案内容を評価する技術評価と価格評価を合算し、総合的に評価する。

評価項目		主な評価内容
技術点 (700点)	①事業の実施計画	・工場のコンセプト ・地域経済への貢献 (地場企業参入、雇用創出を想定) など
	②安定的なごみ処理の実現	・燃えにくいごみへの対応能力 (ごみ量、ごみ質の変動は必須) ・ランニングコスト削減 (省エネ、薬品使用量削減は必須) ・運転作業員の作業環境 (安全性の確保や作業動線を想定) ・更新しやすい機器配置計画 など
	③テクノロジーによる課題解決 (脱炭素・省力化)	・脱炭素 (水素対応の点火用バーナーは必須) ・省力化 (焼却炉の自動運転のAI化、IoT技術による点検巡視の支援ツールを想定) など
価格点 (300点)		

(参考 2) 入札参加者に求める能力・資格等 (案)

1 グループの構成

入札参加者は**プラント設計・工事、建築設計、建築工事及び工事監理**を行う者で構成されたグループとし、代表企業はプラント設計・工事を行う者とする。

2 各業務の参加資格

業種	入札参加資格要件 ◇：業種ごとに全ての者が満たす必要がある要件 ◆：業種ごとに1者以上が満たす必要がある要件
プラント設計・工事	◇競争入札有資格者名簿 (工事) の登載 ◇清掃施設工事に係る特定建設業の許可 ◆経営事項審査の総合評定値が清掃施設工事で1,100点以上 ◆以下の条件を全て満たす焼却施設を設計・建設した元請実績 ・処理方式をストーカ式焼却方式とする施設 ・1炉あたり115t/日以上、かつ2炉構成以上の施設 ・ボイラー・タービン式発電設備を有する施設
建築設計	◇競争入札有資格者名簿 (委託) の「土木設計」、「建築設計」又は「設備設計」の登載 ◆一級建築士事務所の登録 ◆焼却施設を設計した元請実績
建築工事	◇競争入札有資格者名簿 (工事) の登載 ◇建設工事に係る特定建設業の許可 ◇経営事項審査の総合評定値が下記区分のいずれかを満たす 建築工事一式：900点以上、電気工事：860点以上、 管工事：820点以上、土木一式工事：900点以上、その他：一 ◆経営事項審査の総合評価値が建築工事一式で1,100点以上 ◆焼却施設を建設した元請実績
工事監理	◇競争入札有資格者名簿 (委託) の「土木設計」、「建築設計」又は「設備設計」の登載 ◆一級建築士事務所の登録 ◆焼却施設を工事監理した元請実績

※1：複数業務を兼務することは可能とするが、建築工事と工事監理を兼務は不可。

※2：競争入札有資格者名簿は、「福岡市・水道局・交通局競争入札有資格者名簿」又は「福岡市・水道局・交通局特定調達契約等に係わる競争入札有資格者名簿」とし、登録されていない者は、入札参加資格審査申請を行う必要がある。

※3：焼却施設の実績は、平成25年4月1日から参加資格確認基準日までの期間に完了した廃棄物の処理及び清掃に関する法律第8条第1項または第9条の3に規定する一般廃棄物処理施設のうちの焼却施設が対象。